

卒業に向けて

校長 由井 良昌

2月28日は、都立高校一般入試の結果発表日でした。いわゆる受験を体験して、嬉しくて跳び上がった人、悔しくて泣いた人、喜びたいのだけれどまだ決まっていない人のことを慮（おもんばか）って感情を抑えている人などなど、一人ひとりの思いはそれぞれに違っていったことと思います。

思いどおりではなかった人は、まず精一杯やった自分を認めてあげましょう。たとえ第一希望の学校に進めなくても、あなたが進む学校とは何かの縁で結ばれているのです。あなたの入学する学校に行きたくても行けなかった誰かがいるということを忘れないでください。自分の入学する学校が自分にとって一番よい学校だと思ってください。

今年度の3年生は、優しい人たちばかりです。また、合唱コンなどでの意欲的な姿が、下級生のよい見本になり、和泉中を引っ張ってきてくれました。ありがとうございます。その3年生もあと13日後には卒業式を迎えます。

和泉中学校で学んだことに自信と誇りをもって卒業してください。1・2年生は3年生に感謝の気持ちを込めて送り出し、そして、進級する心構えをもってください。一人ひとりが丁寧に思いを込めて、素晴らしい卒業式にしてほしいと思います。



3月の予定

日	曜	学校行事予定
1	金	
2	土	手習い塾(9-12)
3	日	
4	月	安全指導 専門委員会
5	火	職員会議
6	水	鑑賞教室(3年)
7	木	卒業遠足(3年)
8	金	保護者会(1・2年) 臨時PTA総会
9	土	社会貢献活動報告会(仙台) 手習い塾(9-12)
10	日	
11	月	全校朝礼 避難訓練
12	火	救命救急講習会(3年) 中央委員会
13	水	職員会議 学校支援本部会
14	木	学校評議委員会
15	金	卒業式予定
16	土	手習い塾(9-12)
17	日	
18	月	卒業式練習、準備
19	火	卒業式
20	水	春分の日 都駅伝大会
21	木	
22	金	大掃除 避難訓練(引き取り訓練)
23	土	小笠原自然体験(始)【~29日】
24	日	
25	月	終了式 職員会議
26	火	春季休業日(始)
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

2年生スキー教室実施 ~ 菅平高原移動教室 ~

1月29日から2月1日までの4日間、長野県の菅平高原にて、スキー教室を実施しました。天候にも恵まれ、最高の雪の状態で滑ることができ、どんどん上達しました。3日目には、となりのゲレンデまで、スキーツアーを行うことができたほどでした。これもインストラクターの方の熱心な指導と、全員の諦めないという気持ちによるものだったと思います。また宿舎の前で行ったかまくら作り、雪とたわむれる時間は最高だったようです。

キャンドル作り体験でつくったキャンドルが夜になるとかまくらの中できれいにひかり、幻想的でした。

菅平高原スキー学校のインストラクターの皆様、温かく迎えてくださった宿泊先のプチホテルゾントックの皆様にご心より御礼申し上げます。



平成24年度 教育調査について

保護者の皆様に昨年12月にご協力いただいた教育調査の集計が終了いたしましたので、結果についてお知らせいたします。また、この結果を考察し、来年度の教育活動に生かしてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

教務主幹教諭 小松進一

No	領域	質問内容（保護者への調査内容）	保護者肯定率
1	学校経営	子どもの学校生活に満足している。	73.3%
2	学校経営	子どもの実態、学校や地域の実情を踏まえ、義務教育9年間を通した一貫性のある教育（小中一貫教育）が進められている。	49.3%
3	学校経営	特色ある教育活動は、学校や地域に特有の課題解決を通じて、子どもたちの成長によい効果をもたらしている。	50.7%
4	学校経営	学校が自校の教育活動に対する評価を行った結果について、適切に情報提供を受けている。	50.7%
5	学級経営	子どもが安心して学校生活を送ることのできる学級づくりが行われている。	85.3%
6	学習指導	全ての子どもに確実に力を付けることを目指した授業が行われている。	58.7%
7	学習指導	子どもの学習について、適切な評価を受けている。	65.3%
8	生活指導	いじめや不登校などの課題が起きたとき、教員が協力し、解決に向けて迅速に取組んでいる。	49.3%
9	道德教育	学校での生活を通して、子どもに、人も物も大切にしようとする心が育っていきっていると実感している。	57.3%
10	体育・健康教育	学校での生活を通して、子どもに、健康な生活を送る力が育っていきっていると実感している。	66.7%
11	教育相談	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校がその解決を支援してくれている。	44.0%
12	特別支援教育	特別支援教育や発達障害を理解するための情報提供が十分になされている。	10.7%
13	学校安全	学校は、様々な災害に対応するための体制・準備が整っている。	65.3%
14	地域との協働	家庭・地域・学校が協力して子どもの成長を促している。	78.7%

No	観点	質問内容（生徒への調査内容）	生徒肯定率
1	領域	先生たちは、考えや気持ちの違いを認め合ってみんなで協力できるように促してくれている。	73.5%
2	学習指導	授業では、自分の得意な部分を伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、先生が個別に教えてくれる時間がある。	59.0%
3	学習指導	学校の授業を受けることで、分かることやできることが少しずつ増えている。	86.7%
4	学習指導	先生たちは、授業でできたことを誉めてくれたり、できなかったことの原因をしっかりと教えてくれたりしている。	67.5%
5	学習指導	先生たちは、今授業で学習していることが、前に学んだことやこれから学ぶことと、どのようにつながっているか、説明してくれている。	77.1%
6	道德教育	先生たちは、友達や先生、家族との人間関係について振り返ったり見直したりできる時間を作ってくれている。	44.6%
7	体育・健康教育	先生たちは、生活をよりよくするための1日の過ごし方や生活の仕方の工夫について教えてくれている。	43.4%
8	教育相談	友達や先生、家族のことで悩んだとき、相談できる先生やスクールカウンセラーの先生がいる。	44.6%
9	特別支援教育	特別支援学級や自校外の障害のある同じ年くらいの子ともと交流する機会がある。	16.9%
10	学校安全	地震や火事が起きたときにどうしたらよいかについて、しっかりと学んでいる。	81.9%
11	地域との協働	先生は、地域の人と協力しながら、私たちの授業や学校生活をよりよくしてくれている。	69.9%

来年度の小中一貫教育では、年7回の小中合同研究会を実施し、教科学習や生活の連続を研究するとともに、児童・生徒の交流行事や交流授業を推進し、9年間を見通した一貫教育の充実を図ります。また、保護者や地域の方にニュースレターやホームページによる情報発信を行います。

来年度も和泉地区学校支援本部の支援による『和泉手習い塾』などの学習支援や地域ボランティア活動を推進し学校教育の充実を図ります。

来年度も第3学年において、自分と地域社会との関わりを体感し、募金活動を通して、自ら社会に役立つことができる「社会貢献活動」を実施します。

平成25年度 高等学校入試合格校

【都立高】武蔵丘、大森、駒場、世田谷泉、豊多摩

【私立高】杉並学院、晃陽学園、東京立正、日本大学桜丘、駒澤大学、修徳、法政大学、
日本大学第二、サレジオ工業高専、多摩大学目黒、明治大学付属明治、中央大学杉並、
東京文理学院、日本工業大学駒場

【3月の生活目標】 思いやりの心をもつ